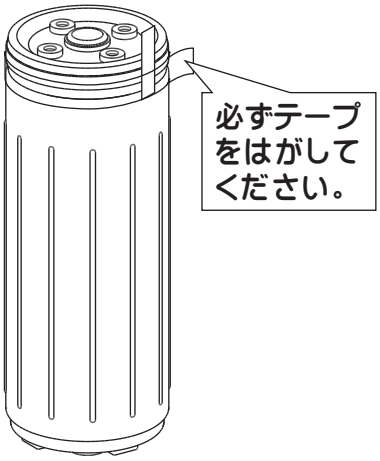
カートリッジの交換方法

PRODUCED BY ACM

210707

以下の同梱されている5点を必ず確認して下さい。

カートリッジ　1　つ



胴体用オーリング　2　コ

平ゴムパッキン　1　コ
（オーリングホルダー用）

オーリング　1　コ
（オーリングホルダー用）

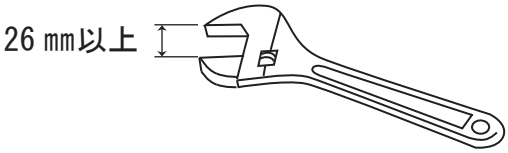
※水の検査用

ご注意　残留塩素測定試薬および残留塩素測定試薬の入った水は、飲まないように注意して下さい。

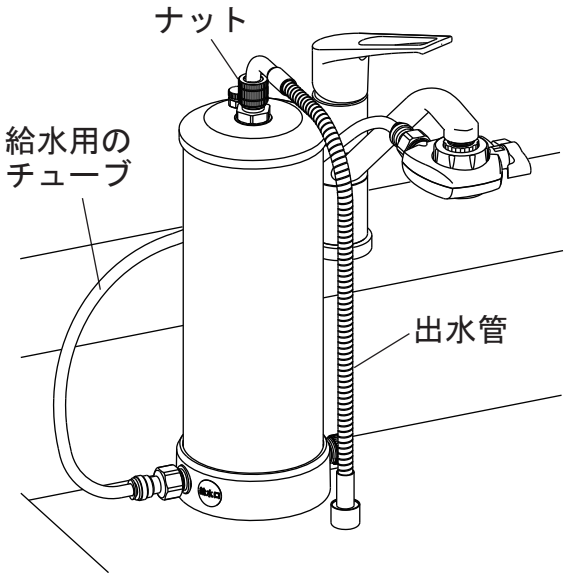
残留塩素測定試薬
（1包1回分　2 包入）

必要な工具（ご準備下さい）

２６㎜以上開くモンキーレンチをご準備下さい。



カ-トリッジ゛の交換方法



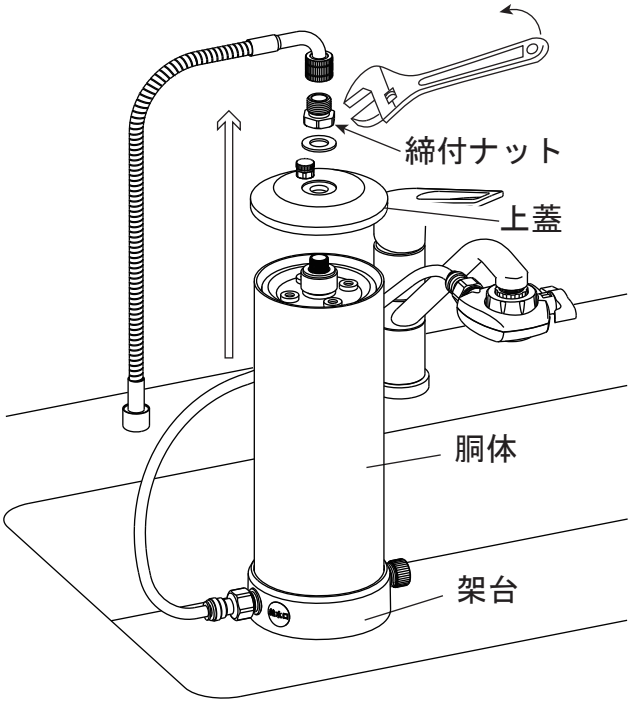
(1) 水道の蛇口を閉めて下さい。

(2) 本体を流し台のシンク内に入れて下さい。

※作業上、給水用のチューブがジャマでなければ付けたままで作業して下さい。

(3) 出水管のナットをゆるめて、本体から外して下さい。

ご注意　ナットをゆるめると出水管内の水が出ますので、作業は流し台で行って下さい。



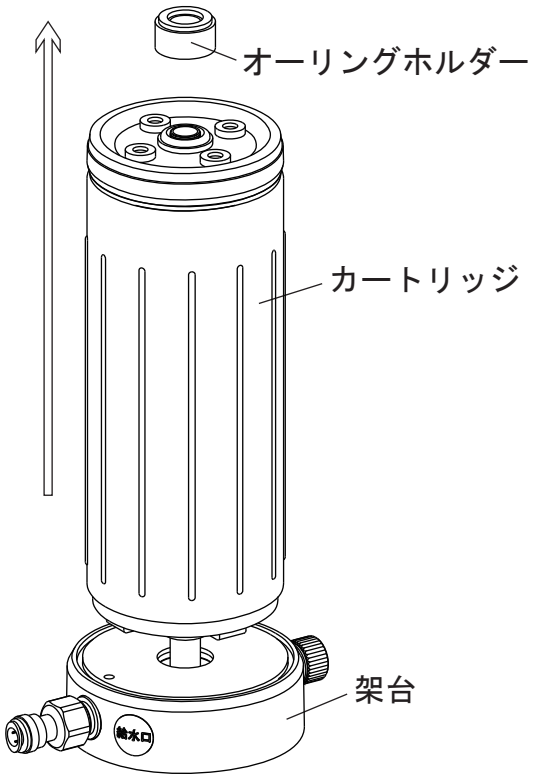
(4)本体の締付ナットをレンチ等(モンキー)でゆるめて(左回し)、上蓋を取り外して下さい。

ご注意 締付ナットをゆるめると、胴体と架台の間から水がでますので、作業は流し台で行って下さい。

(5)胴体を上に持ち上げながら抜いて下さい。

(6)オーリングホルダーを抜きます。

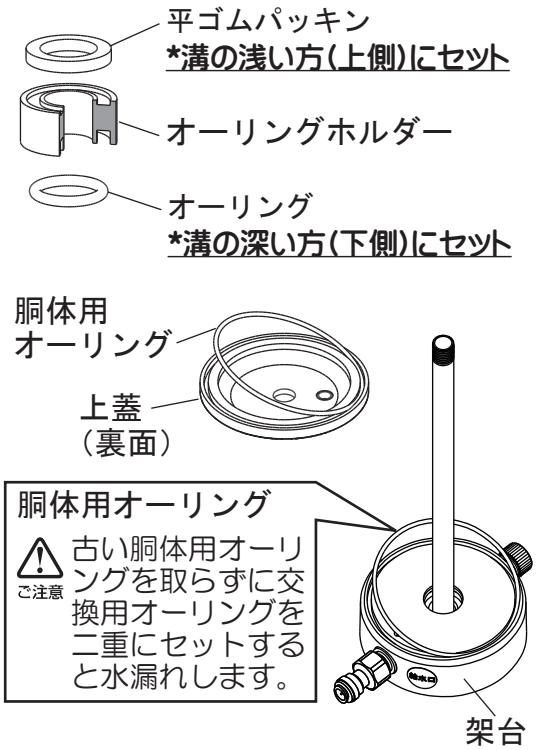
上蓋の内側にオーリングホルダーが付く場合があります。そのときは、オーリングホルダーを横にズラすようにしながら取り外して下さい。



(7)架台を片手で押さえながら、カートリッジを抜き取ります。その際、取り外した部品等を水洗いして下さい。

このとき、切替コックのレバーを原水にして蛇口を開くと水道水が出ます。
その水で部品等を水洗いします。

ご注意 洗剤は、中性洗剤をご使用下さい。部品劣化の恐れがあるため、その他の洗剤等のご使用は避けて下さい。



(8)同梱のオーリング・パッキンを交換して下さい。

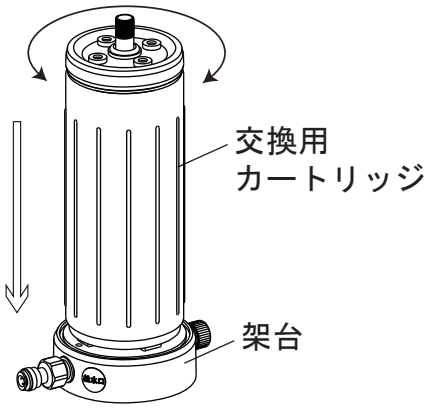
今ついているオーリングが外しにくい場合は、先の尖ったもの（安全ピン・針など）で外します。
オーリングを外した溝の汚れ・水あかなどの汚れをティッシュなどで取り除いてから、同梱の新しいものをセットして下さい。

※溝にしっかりセットされているか、必ず再度ご確認下さい。

① オーリングホルダーの上下の溝にセットされている平ゴムパッキン・オーリングの２点を交換して下さい。

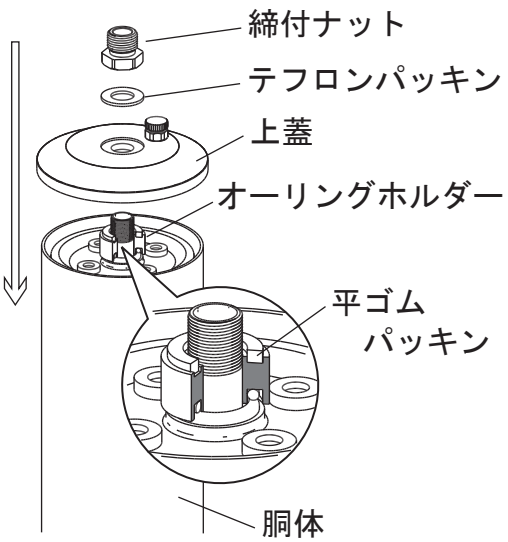
※溝の浅い方（上側）に平ゴムパッキン、溝の深い方（下側）にオーリングをセットします。

② 上蓋溝（裏面）・架台溝の胴体用オーリングをそれぞれ交換して下さい。



(9)架台に交換用カートリッジを差し込みます。

このとき、カートリッジを左右に回しながら差し込むと容易に入ります。



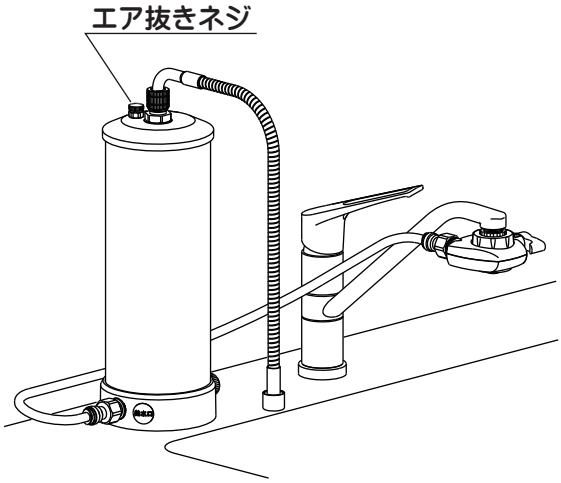
(10)胴体・オーリングホルダー・上蓋をのせてレンチ等（モンキー）で締付ナットを締めます。

オーリングホルダーは平ゴムパッキンがセットされている方を上にして差し込みます。

上蓋の上にテフロンパッキンをセットして下さい。

締め付ける目安は、締付ナットを徐々に締め付け、胴体のガタツキが無くなってから締付ナットを一周締めつけて下さい。

出水管を取り付けて、カートリッジの交換は完了です。



(11)使用する前にエア抜きを行います。

a：蛇口に取り付けた切替コックのレバーを浄水にして、蛇口を少し開きます。

（注）蛇口を開けすぎるとエアが抜けた後、水が吹き出しますので、注意しくて下さい。

b：エア抜ネジを左に１回転位回して下さい。

c：エア抜き部から水が出てきたらエア抜きネジを右に回してしめて下さい。

(12)出水管から水が出たら、蛇口を全開にして約2分間捨て水をしてください。

(注)１ 使い始めに活性炭の黒い微粉が浄水に若干混入することがあります。
その時は、微粉末がでなくなるまで（５分程度）通水して下さい。

(注)２ 出水管と切換コックの出水部分の水洗い（P5）を行って下さい。

(13)水の検査

これは、浄水された水が正常であるかを確認する検査です。

確認方法

１． コップに浄水後の水（約５０ｃｃ）をとります。
２． 付属部品の残留塩素測定試薬を１袋加えます。
３． かき混ぜて、無色透明であることを確認して下さい。
（判定は1分以内で行って下さい。）

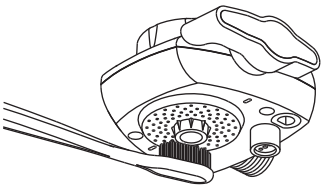
残留塩素測定試薬は、水道水の中に含まれている残留塩素の有無を測定する試薬です。塩素が残留していると試薬はピンクに変色します。

※但し、1分以上おくと残留塩素が無い状態でも変色します。ご注意下さい。

《注意》

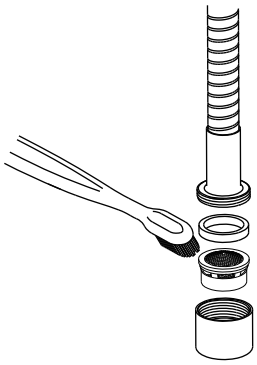
- 試薬は直射日光を避け、なるべく湿気の少ない涼しい場所に保管して下さい。
- 品質保持のため、袋はご使用直前に開封して下さい。
- 試薬が変色したものはご使用にならないで下さい。
（保管状態により、試薬が白色から変色してしまうことがあります。）
- 検査後のコップの水はすみやかに捨てて、コップはよく洗ってからご使用下さい。
- 残留塩素測定試薬および残留塩素測定試薬の入った水は、飲まないように注意して下さい。
- 試薬が手や皮膚についた場合は、よく洗い流して下さい。
- 万一、目や口に入った場合は、よく水洗いした後、医師にご相談下さい。
- 乳幼児の手の届かない場所に保管して下さい。

快適にお使い頂くためのお手入れ方法



切替コック

１ヵ月に１～３回を目安に出水部分を清潔なハブラシ等を使い水を出しながら汚れを落とします。



出水管

塩素が取り除かれた水が出る出水管は汚れたハブラシ等で洗うと出水口に雑菌が付着・繁殖する事があるので、清潔なハブラシ等をお使い下さい。
１ヵ月に１～３回を目安に先端の泡沫栓を回して取り外し、水洗いします。

修理を依頼される前に確認して下さい

事　例	もう一度確認して下さい	解 決 方 法	参照ページ
架台から水漏れする	胴体用オーリングを交換しましたか？	古いものをそのまま使用されると水漏れの原因となります。「カートリッジの交換方法」を参照の上、オーリングを交換して下さい。	３ページ(8)
	架台の溝に胴体がしっかり入っていますか？	胴体が架台の溝にきちんと入っていない場合、水漏れの原因となります。確認して下さい。	３ページ(10)
上蓋から水漏れする	胴体用オーリングを交換しましたか？	古いものをそのまま使用されると水漏れの原因となります。「カートリッジの交換方法」を参照の上、オーリングを交換して下さい。	３ページ(8)
	上蓋溝に胴体がしっかり入っていますか？	新しく交換した上蓋溝の胴体用オーリングが胴体に噛み合うように乗せてから締め付けて下さい。	３ページ(10)
	締付ナットの下に、テフロンパッキンが入っていますか？ また、破損していませんか？	交換中にテフロンパッキンを紛失された可能性があります。確認して下さい。また、亀裂等の破損が見られる場合には、ご購入先までお問い合わせ下さい。	３ページ(10)

井戸水をご使用するときは、保健所での飲料適合の承認を得たものでご使用下さい。

210707

修理を依頼される前に確認して下さい

事　例	もう一度確認して下さい	解 決 方 法	参照ページ
塩素反応が出る	オーリングホルダーを入れ忘れていませんか?	オーリングホルダーを入れ忘れたり、上下が逆になっていると塩素漏れの原因となります。確認して下さい。	3ページ(10)
	オーリングホルダーを上下逆に入れていませんか?		
	オーリングホルダー用の平ゴムパッキン、オーリングを交換しましたか?	古いものをそのまま使用されると塩素漏れの原因となります。「カートリッジの交換方法」を参照の上、新しいものと交換して下さい。	3ページ(8)
	給水口シールの貼ってあるネジに給水のチューブが接続されていますか？	架台の給水口以外に給水用のチューブを接続すると、浄水できません。正しく付け直して下さい。	
出水管から水漏れする（蛇腹部分）		長期使用での劣化によるものと思われます。新しい出水管と交換して下さい。	
（締付ナットとの接続部分）	出水管の締付ナットとの接続部分の内側に、白黒２枚のパッキンが入っていますか？	パッキンのどちらかが破損していたり紛失されてしまった場合、水漏れの原因となります。ご購入先までお問い合わせ下さい。	
蓋がしまらない	カートリッジ上下逆に入れていませんか？	取扱説明書に従い、上下を確認して下さい。	3ページ(9)
	現在使用している機種と交換カートリッジの機種は、同じ名称ですか？	機種の種類によってカートリッジの大きさが異なります。使用機種とカートリッジの名称が異なる場合は、ご購入先までお問い合わせ下さい。	
初回に浄水器から出る水が黒い。（取付時）		初水に活性炭の黒い微粉が浄水器に混入することがあります。使いはじめの際は黒い水が透明になるまで通水して下さい。	4ページ(12)（注１）

井戸水をご使用するときは、保健所での飲料適合の承認を得たものでご使用下さい。

ご使用上の注意

（1）　流し台の下及び水道直結型にはなりません。
（2）　浄水出口には、バルブ等を一切使用しないで下さい。
（3）　使用水圧（動水圧）０.３５MPa以内でご使用下さい。
（4）　凍りつく恐れのある場合は、ご使用できません。
（5）　井戸水等に使用される場合は、必ずご相談下さい。
（6）　製氷器・湯沸かし器等には、連結しないで下さい。
（7）　ご使用は、水(飲料水適合)だけにして下さい。お湯を通したとき、臭いの成分が浄水に混ざる場合がありますのでご注意願います。
（誤っての短時間の通水であれば問題ありません。）
（8）　朝、最初に使う場合は、約４５秒間捨て水をして下さい。
２～３日使用されなかった場合は約２分間位捨て水をして下さい。
（9）　金魚や熱帯魚には使用しないで下さい。
・水質の違いにより適さない観賞魚がいるため。
・カートリッジの寿命付近はカルキ（残留塩素）の除去が不十分な場合魚が死んでしまう恐れがあるため。
（10）水の検査用残留塩素測定試薬は、劇物ですのでお子様の手の届かないところに保管願います。また、水の検査終了後のコップ等はよく洗って下さい。
（11）出水管の先端および切替コックの出水部分は１ヵ月に１～３回を目安に、水洗い(P５)を行って下さい。

■製造元
株式会社　エイ・シー・エム
〒130-0026　東京都墨田区両国4-8-10 MYSビル3F

210707